

一杯の味噌汁への思い

2011年3月11日、東京電力福島第一原子力発電所が津波と爆発で放射線が拡散した。その時、私は原発から直線距離60キロの福島県須賀川市の栄光幼稚園・保育園の園長だった。0歳児から6歳児までの子どもの健康をどうしたら守れるのか。五感で検知できない未知の放射線の前に無力でした。水はペットボトルに、食物は県外産のもの、園庭で遊ばせない、窓を開けない、園庭の表土を削る、樹木の枝は切る、できることは何でもしました。そんな時「味噌汁は発酵食品として免疫力を高め、代謝を良くする万能栄養食品」のコピーを目にしました。私は、これだと思い。避難したくても避難できない園児たちに、かつお節と昆布でしっかり出汁を取った味噌汁を毎日提供し始めました。ここ福音幼稚園に着任して、すぐに実行したのは、毎昼に出汁をしっかりとった美味しい味噌汁を提供することでした。2019年度からは、ぬか漬けの漬物も出しています。手前味噌ですが、風邪で休む園児が少ないと感じています。

